

国語科学習指導案

指導者 大下 真央

1 日時 令和2年11月13日(金) 5校時

2 学級 2学年

3 単元名 扇の的—「平家物語」から

4 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領(平成20年)国語 第2学年の内容

[C 読むこと]

イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。

[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]

ア 伝統的な言語文化に関する事項

(ア) 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しむこと。

(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。

を受けて設定する。

「平家物語」は、平家一門を中心に、時代の流れに翻弄され、戦い、敗れてゆくさまざまな人間のありさまが描かれた軍記物語である。漢語を巧みに交えた文章には独特のリズムがある。登場人物の心情を想像しながら読むことで、命を懸けた合戦の最前線で武士たらんとするものの見方や考え方に触れることのできる作品である。

(2) 生徒観 (省略)

(3) 指導観

「平家物語」を通して、古典の世界を楽しませたい。武士の思いを想像しながら読み取りを進め、古典の世界の人間のものの見方や考え方に触れ、古典の面白さに気づかせたい。

そのために、次の指導方法をとる。

単元を貫く言語活動として「武士が大切にしていたものは何か自分の考えをまとめる」を設定する。

「武士が大切にしていたものは何か」と問いながら、「扇の的」、「弓長し」、「敦盛の最期」を読み進める。登場人物の言動の意味を読み取り、古典の世界の人間のものの見方、考え方に触れさせたい。思いを想像する根拠として登場人物の言動、理由としてそこからわかること・想像したことをまとめるワークプリントを用意し、武士の思いを言葉で説明できるようにさせたい。

また、2回のグループ活動を設定する。1回目は、担当した登場人物が共通するメンバーでグループ活動を行い、次のグループ活動に臨めるよう準備をする。2回目は、4人担当した登場人物がそれぞれ異なるメンバーでグループ活動を行い、共通点、相違点をまとめながら、「武士の大切にしていたもの」を想像させたい。

5 単元の目標

- 「平家物語」に関心をもち、古典の世界を楽しもうと意欲的に学習に取り組んでいる。
(関心・意欲・態度)
- 登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てている。
(読むこと)
- 「平家物語」を「平曲」としての特徴を生かして朗読している。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)
- 「平家物語」に表れたものの見方や考え方に触れ、武士の思いを想像している。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

6 単元の評価規準

ア 関心・意欲・態度	エ 読む能力	オ 言語についての知識・理解・技能
「平家物語」に関心をもち、古典の世界を楽しもうと意欲的に学習に取り組んでいる。	登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てている。	①「平曲」としての特徴を生かして朗読している。 ②「平家物語」に表れたものの見方や考え方に触れ、武士の思いを想像している。

7 指導計画 (全7時間) 本時 (6 / 7)

本単元で身に付ける(働かせる) 見方・考え方		「平家物語」の登場人物の言動の意味を考え、内容の理解に役立て、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、思いを想像すること。				
時	学習内容	評価				
		関	読	言	評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ・「平家物語」について知る。 ・冒頭文「祇園精舎」を読み、文章の特徴について考える。 	◎			<ul style="list-style-type: none"> ・「平家物語」に関心をもち、古典の世界を楽しもうと意欲的に学習に取り組んでいる。(ア) 	ワークシート 行動観察
〈単元を貫く言語活動〉 武士が大切にしていたものは何か自分の考えをまとめる。 〈単元を貫く問い〉 武士が大切にしていたものは何だろう。						
2 3 4	<ul style="list-style-type: none"> ・「扇の的」、「弓流し」、「敦盛の最後」を読み、内容の大体を捉える。 		◎		<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てている。(エ) ・「平曲」としての特徴を生かして 	ワークシート 行動観察

	・場面の状況や登場人物の心情について考える。				朗読している。(オ①)	
5	・「義経」,「那須与一」,「敦盛」,「直実」の中から担当する登場人物を決め,人物の言動に着目して読み取り,「大切にしていたもの」をまとめる。		◎	○	・登場人物の言動の意味などを考え,内容の理解に役立っている。(エ) ・「平家物語」に表れたものの見方や考え方に触れ,武士の思いを想像している。(オ②)	ワークシート
6	・武士たちが大切にしていたものをグループでまとめる。 本時(6/7)		○	◎	・登場人物の言動の意味などを考え,内容の理解に役立っている。(エ) ・「平家物語」に表れたものの見方や考え方に触れ,武士の思いを想像している。(オ②)	ワークシート 行動観察
7	・「武士たちが大切にしていたもの」について想像し,自分の考えをまとめる。			◎	・「平家物語」に表れたものの見方や考え方に触れ,武士の思いを想像している。(オ②)	ワークシート

本時の展開

(1) 目標 「義経」,「那須与一」,「敦盛」,「直実」の言動の意味に着目し,ものの見方や考え方に触れ,武士の思いを想像している。

(2) 学習の主な流れ(例)

時間	学習活動 ○予想される生徒の反応	◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準 (方法)
3	1 暗唱をする。 ・「平家物語」を暗唱する。	◆暗唱が難しい生徒は,教科書を見ながら音読をさせる。	
5	2 本時のめあてを確認する。 それぞれの武士が大切にしていたものを交流し,武士が大切にしていたものは何かまとめる。		
5	3 前時を振り返り,説明する練習をする。 ・ワークシートを確認し,説明できるよ	◆記入がすんでいない生徒に声をかける。	登場人物の言動の意味などを考え,

	うに準備をする。	◇「大切にしていたもの」を導き出した登場人物の言動（根拠），言動からわかること・想像したこと（理由）を説明させる。	内容の理解に役立てている。（ワークシート）
25	4 グループになり，活動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・担当した登場人物について説明をする。 ・四人の武士の言動の意味の共通点や相違点を書き込んでいく。 ・グループで武士が大切にしていたものは何かまとめる。 	◇1人3分程度，「言動の意味」・「大切にしていたもの」を説明させる。 ◇マジックで模造紙に書き込みをさせる。 ◆グループで出た意見を記録し，次回のまとめに活用できるようにさせる。	「平家物語」に表れたものの見方や考え方に触れ，武士の思いを想像している。（ワークシート）（行動観察）
5	5 振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをする。 		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈期待する生徒の振り返りの例〉</p> <p>四人の武士の共通点や相違点をまとめることで，平安時代の武士たちは（「正々堂々とした武士としての生き方」，「命より武士としての誇り」）を大切にしているとわかった。登場人物の言動を整理すると，武士たちの心情が浮かび上がってきた。次回，今日の学習をいかして，自分の考えをまとめていきたい。</p> </div>	
	・次時の予告を行う。		